THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



THE Y'S MEN'S CLUB OF

OSAKA 大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ NAKANOSHIMA

Y'S WOMEN

"To acknowledge the duty that accompanies every right" 「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2021-2022)

国際会長主題: "Y's Men with the World"「世界とともにワイズメン」

アジア会長主題: "Make a difference beyond the 100th"「100 年を超えて変革しよう」

西日本区理事主題: "Challenges for the future" 「未来への挑戦」

中西部部長主題: "Love your neighbor as yourselft"「隣人愛を実践しよう!」 クラブ会長主題:「ずっと一緒に!・・・新しい仲間を見つけつつ」 Monthly Bulletin

第297号

2021年10月

聖書のことば

兄弟たち、それではどうすればよいだろうか。あなたが たが集まったとき、それぞれ詩編の歌をうたい、教え、 啓示を語り、異言を語り、それを解釈するのですが、す べてはあなたがたを造り上げるためにすべきです。

コリントの信徒への手紙一 14章26節

選者 吉岡 香代子

10 月例会プログラム

日時: 2021 年 10 月 9 日 (土) 14:00~16:00 場所: 大阪 YMCA 103.104 号室及び Zoom

司会 杉浦眞喜子

1. 開会点鐘 保田 圭子会長

2. ワイズソング: 奏楽のみ

3. 聖句朗読 吉岡香代子

4. ゲスト、ビジター紹介 保田 圭子会長

5. 連絡・報告・ニュース

6. 卓話 *『「ハンコ」業界人から見た* 日本文化の特徴と問題点』

野田将弘メン(茨木クラブ会長)

7. お誕生祝い

8. ニコニコ献金 ドライバー

9. YMCA の歌

10. 閉会点鐘 保田 圭子会長

例会当番(A) 受付当番(C)

	9 月	統言	†		
第1例会出席者数	例会出席率	В	F	統計	
メンバー 13名 ビジター 5名 ゲスト 1名 コメット 1名 合 計 20名	出席者 13名 メイキャップ 0名 合 計 13名 在籍者 14名 出席率 92.9 %	日本 外国 現金 提供者:	Og Og 円	累計 累計 累計	804 g 76 g 円

9月例会報告

「ミャンマーの片隅で」

吉田 由美

DCE (キリスト教教育主事)である小森仁美さんは、牧師の夫と3人の子供たちの家族で、2015年からミャンマーの首都ヤンゴンから500km以上の北の山間地、シャン州で活動されています。多民族国家であるミャンマーには135の部族が数えられ、それら以外にも知られていない少数民族が生活していて、タノ族はその一つです。タノ族は文字を持たず、1年の内、雨季と乾季が半年交代で現れ、雨季に貯めた雨水で乾季を乗り切る、農業が主産業の民族です。

小森さん一家はそこで、「村人たちと友達になり、村のために何が必要か、何が出来るかを考え、共に歩む」生活をされています。乾季の水確保のための貯水槽造りや、特産の生姜を活用する生姜パウダープロジェクト。それらから生まれた

利益は公共事業に回し、出荷用のトラックの購入や、道路の補修を進めることが出来ました。農業以外の産業として、養豚プロジェクトも立上





げ、軌道に乗る事が見え始めていました。

小森一家は、コロナ禍によりミヤンマーからの一時帰国を求められました。その上、戻る事の出来ない今年2月にクーデターが起こり、民主政権は軍政権に変えられてしまい、益々戻る事が出来ない状況下におられます。

ミャンマーで縫製指導を長年されてい



た、なかのしま元メンバーの山地さんや、センテニアルの中

村 Dr を通じた無料診療所支援など、なかのしまとミャンマーとの繋がりは長く深いものと感じています。 奇しくも今年 7 月天に召された山地和家子さんが蒔いた種は、ミャンマーの各地で芽を出して、小森さんの活動とも繋がっています。 私たちが更に出来る何かを、クラブ内で考えてゆきましょう。

他クラブ訪問記 岡山クラブ8月例会に参加して

岡山クラブの8月例会にzoom参加しました。今期のメネット主任・竹内芳江メネットによる「ヘアードネーション」のお話です。牟中西部長は今期、SDGs運動を各クラブの主軸的なYY活動に導入する事を活動計画に入れ、メネット事業では、主任活動方針の踏襲のためのメネット会を、部会に先立って予定しています。岡山クラブ例会への参加は、牟部

この事業の目的は、小児ガン・先天性無毛症・不慮の事故などで頭髪を失った子供たちのために、医療ウィッグ用の毛髪を、無償で送る事です。なかのしまメンバーの中には「白髪交じりでもいいの?」とか思われる方もおられるでしょうが、自分の髪を寄付するではなく、皆さまがお世話になっている美容院に協力をお願いして、髪を集めていただく事です。

長の意向を受け、事業の内容を理解するためでした。

様々な理由で髪を失った子供たちの頭皮は柔らかく敏感ですので、大人が使用するウィッグのように化学繊維で作られたものは、痛く感じます。白髪の無い、若い方の毛髪を、赤

吉田 由美

ちゃんの肌にも使えるオーガニックコットンの生地ベースに 植毛し、着用される子供たちの希望に沿って、丁寧に作られ ます。ウィッグを製作するのは大阪市北区に事務局のある

(株)グローウィングで、『つ な髪』の名称で活動されて います。

出入りの美容院に、添付のポスターをお渡しし、協力をお願いする事がメネット事業で、来年3月末までの期限です。子供たちの笑顔のために、私たちも協力しましょう!髪の長さ(31cm以上)や束ね方などの注意が有る事を、美容院さんにお伝えください。



懐かしい元メンバーの方からのお便り

平松 恒子さんより

なかのしまのみなさま

このコロナ禍を如何お過ごしでしょうか?

毎月ブリテンを送って頂きありがとうございます。皆様の活躍や二コニコメッセージも楽しく拝見しています。これは少し長めのニコニコメッセージです。

私の住む芦屋市は毎年4月から5月にかけオープンガーデンを開催し、個人のお宅や幼稚園や高齢者施設など150ヶ所余りのお庭を紹介しています。コロナ自粛の毎日でしたが運動を兼ねて訪ねてみました。

あるお宅の御夫妻は高齢になり庭がナチュラルガーデン化しつつあるが、毎年誰方か訪ねてくださるのが楽しみと言われ、アイスバーグという綺麗な白薔薇を見せてくださいました。また六甲山の麓にあるお家の庭には小さな滝の流れが紫陽花の庭を潤し、用意されたベンチに座り滝の音や谷川のせせらぎ、それに小鳥の声を楽しみました。丘の上に建つ高齢者施設の庭では花畑の隣にサツマイモが育ち、秋には近くの幼稚園の児童が掘りに来るのを皆で楽しみにしていると伺いました。

ついでですが、宝塚の施設に居た母は 104 歳の老衰で今年2月に亡くなりました。母の希望通り、最後まで過ごした施設の部屋で牧師様のお祈りと賛美歌の家族葬を持ち、阪大の白菊会へ献体しました。

82 歳を超えた夫は一昨年の秋に心筋梗塞の緊急手術を受けました。 初めての入院生活はこれからの生き方を考える良い機会となりました。 私自身はお陰様でとても元気です。

これからもなかのしまワイズの活躍を応援して行きたいと思います。

9月第2例会報告抄

日時: 2021年9月15日(水)19時~

場所: Zoom にて 出席者: 13名

- 1. 「大阪 YMCA 生活困窮留学生への支援金」 について、中西部より締切等を延長すると の連絡があったが、「なかのしま」は既に集 まっている寄付をそのまま移行すること、 また個人名は出さないことを確認した。
- 2. 「なかのしまのホストする新年会」について話合い、中止にはしない、なるべくリアルでやりたい、ダメなら Zoom でも、などの意見が出た。チラシ第 1 報を近い内に出すことを確認した。
- 3. 第 1 例会の小森仁美さんのお話を聴いて、 感想等フリーディスカッションを行い、今 後も小森さんと繋がっていきたい、またお 話を伺う機会が欲しいなどの意見が出た。

ミャンマーに思いを寄せて【4】

杉浦 眞喜子

前回山地和家子さんとなかのしまの関わりについて書きましたが、もう少し続きを書きたいと思います。 なかのしまクラブがチャーターして最初の 10 年ぐらいの間は、全て山地さんを通してですが、様々なミャンマー支援を行いました。その具体的なことは 15 年史に「私たちのミャンマー支援この 14 年」として詳しく書きました。

しかし前号にも書きましたように、10周年を過ぎた頃から少しずつ様子が変化していきました。山地さんの活動がどんどん広がっていき、山地さんをサポートする団体、個人も多くなっていきました。 それに比例して私たちは山地さんの活動の全てを把握することが難しくなっていき、「お金を出すだけで顔の見えない支援」になりつつあることに危惧を感じるようになってきました。

私たちは、「ミャンマー支援」を考える時、初期の頃から繰り返し確認していたことがあります。私たちは「山地さん支援」をするのではなく、山地さんを通して「ミャンマーの方達、女性や障がいのある方達への支援」をするのだということです。また、あくまでも「ワイズの活動の中で」「ワイズのCS活動として」ということをいつも確認していました。

その頃(2012年) 山地さんは「ビルマにて~一針一針の交流に愛と祈りを込めて」という著書を出版されました。これまでの彼女のお働きの詳細が丁寧にそして心を込めて書かれているものでしたが、勿論その中に「なかのしま」の名前も出てきますが、山地さんの活動は到底私たちが把握しきれないほど大きく素晴らしいものだということを、改めて私たちは知ることになりました。

そして一部のメンバーの中には「山地さんを高く評価して・・」「山地さんをもっと支援しよう」という意見を持つ方も出てきました。そしてその方たちには、上記のなかのしまの「ミャンマー支援」のあり方をなかなか理解して頂けなく、結局 2010 - 2012 年ごろ何人かのメンバーの退会ということになってしまいました。山地さんは、上記なかのしまの基本的な考え方を十分に理解して下さってはいましたが、活動がよりお忙しくなるとの理由で 2013年6月になかのしまを退会なさいました。

その後の山地さんのご活躍は、アウンサン・スーチーさんに会われるなど素晴らしいもので、私も含めなかのしまのメンバーも個人的に近況を伺ったりしていましたが、ここ1、2年は連絡が取れなくなっていました。

山地さんのご功績は素晴らしいもので、そのお働きの初期の頃にわずかながら関わらせて頂けたことは、私たちの大きな誇りとしてもいいかな?と私は思っています。

◇10 月お誕生日の方◇ Happy Birthday

和田 早苗 6日 吉田 由美 7日

「私と『謎解き』」

鳥居翠

私はたぶん自他ともに認める謎解き好き、ミステリー好きだと思います。

一番初めに謎解きに出会ったのは、小学校3年生の時に 買ってもらった本でした。その本はいくつかの物語が前半 の問題部分と後半の解答部分に分かれていて問題部分を 読んだ後自分で推理をして後半部分を読むという今考え てもなかなかに画期的な本でした。そこから、コナンドイ ル、横溝正史と順調に推理小説にどっぷりはまっていきま した。

そうこうしているうちに、世の中には有栖川有栖や綾辻行人などという新本格ミステリというものが流行ってきました。それに合わせて大阪のホテルで『宿泊しているのに眠れない』推理イベントが始まりました。チェックインして部屋に隠されているヒントの謎を解き、事件の起きるお芝居を見て、夜中の3時提出期限の逮捕状を書き、朝の9時から始まる解決編を見て優秀者には景品が出るというものです。コロナ禍で止まってしまっていますが毎年の楽しみでもありました。

テレビでも『安楽椅子探偵』という番組もありました。 先に出た有栖川有栖や綾辻行人のお二人が謎の作成です。 問題編を見て犯人や動機を応募して 1 週間後の解決編を みるというものです。画面の隅々まで見ないとわからない ヒントを探すのに友達と夜中までチャットで意見交換し ていました。最近は脱出ゲームですね。謎を解いてする、 一度なかのしまでも体験していただいたアレです。体験し てもらったもの以外にも種類があります。俳優の佐藤健さ んが謎好きを公言してくれているので脱出ゲームや謎解 きゲームというと、『あぁ、あれね』と言われることも多く なってきました。

人生は解けない謎が多いなぁと思っていますが、謎解き ゲームは解けたときのすっきり感が半端ないですね。解け なかったときは悔しいのでリベンジするぞ!というモチ ベーションにもなっています。

私がこの謎解き沼から抜け出る日はまだまだ来ないと 思います。

YMCAニュース

★ 第333回早天祈祷会

日時: 2021 年 10 月 15 日(金) 7:30~8:15 ※朝食会はございません。

証し…林 健太郎(はやし けんたろう)さん (グローバル 事業グループ 事業グループ長、土佐堀会館副館長)

場所…大阪 YMCA 会館 10 階チャペル

※感染予防対策をして実施します。必ず事前に検温の上、マスク 着用でご参加ください。

※新型コロナウイルスの状況により、中止の可能性があります。

〈ニコニコメッセージ〉 - 9月-

- ☆ なかのしまワイズメンズクラブの例会、皆さまがとても 積極的で、私も多くを教えられ、たくさんの刺激を頂く ときになりました。本当に貴重な機会をいただけたこと を感謝しています。また引き続きつながらせて頂けたら 嬉しいです。 (卓話者 小森仁美)
- ☆ 小森さんのミャンマーでの暮らしと、活動を聞く機会を いただいて感謝です。もっと、もっとの私たちの暮らし を、改めて考えさせられました。ズームの例会参加、久 しぶりに國友さんや、皆様にお会いできたのも、ズーム のお陰です。 (和歌山紀の川クラブ 坂本智)
- ☆ 土曜日の昼下がりほっこりとした時間を過ごせましたありがとうございました。

(和歌山紀の川クラブ 向井千恵子)

- ☆ ミャンマーに於けます、日本の牧師ご夫婦の現地に根ざしたお姿とご活躍に感動いたしました。そのお姿は、アフガニスタンでの中村医師と重なりました。つまり、伝道や医師としての本来の目標を達成するには、人間としての尊厳や生活の安定が優先課題であるとの証左と実感しました。日本で恵まれた環境に慣れた私たちは、もう一度感謝することに溢れていることを自戒すべきと思います。 (大阪クラブ/中西部長 牟大盛)
- ☆ ミャンマーの村に入って村人と心ひとつに、様々なプロジェクトを成功させておられる小森さんご一家の生き方に大きな感動を覚えました。「平和を実現する人々」ここにあり!ですね。 (大阪土佐堀クラブ 川岸清)
- ☆ 小森さんご夫妻のチャレンジ精神に、非常に感動しました。私もミャンマー人の友人との関係から、ミャンマーに関心を持つようになりました。しかし後期高齢者の私には、小森さん夫妻のような行動をする時間も、体力もありませんが、これからのミャンマーを背負っていくミャンマーの若者に、少しでもお役に立つことをお手伝いできればと思っています。

(大阪センテニアルクラブ 中村隆幸)

- ☆ 杉浦さんに甘えて全員参加の第 1 例会をたのしみました。 やっぱり揃うって嬉しいですね。秋色への一歩前の緑の 多い気候です。これでコロナさえ静かになれば最高なの にと願いつつ、次回をたのしみにしています。 (今井)
- ☆ 小森さんのいちばん大切な友情を育てる姿勢に感動でした。ニコニコはありがとうを一杯で。 (江見)
- ☆ 21歳と9ヶ月でニャンコが亡くなりました。キキという 名の雌。はるばる大阪から京都まで一緒に移住して 17年。あまり手もかからず(病気をしない)性格はいたってクール、一番好きなのがこれまたクールな夫で、その彼に看取られて死んだ・・・。私は単に餌係だったなーと思います。そこここに気配を感じて寂しい秋です。

(國友)

☆ 小森さんのお話、心に響きました。それと同時に小森さんを通してもう一度ミャンマーと関わることが出来たらとの思いを強くしました。 (杉浦)

- ☆ ジャム作りに参加し、久々の外出にウキウキ!巨峰をカットしながら、嬉しい!楽しい悦びに溢れ、なかのしまの皆さんの顔が浮かびました。 (武井)
- ☆ 引っ越しの準備をしました。大変でした。 (武井美帆)
- ☆ 今日のミャンマーのお話、非常に心を動かされました。 「ミヤンマーの片隅で」小森仁美さんのお話をお伺いし 山地さんがミヤンマーの女性、子供達のためにいろいろ 教えてこられたことを思い出しました。頑張られました よね。 (藤井)
- ☆ Zoom で開催、だいぶなれてきました。対面でなく残念ですがお顔を見られるだけでも嬉しいです。今日のお話しは心に留めておかなければ・・・忘れん坊ですが、しっかりメモを取りながら拝聴いたしました、感謝です。

(藤好)

- ☆ ニュースで見るミャンマーはクーデターに絡むものが多いですが、実際には、それぞれの地域で暮らす人々の生活があることを忘れてはいけないなと、改めて思いました。 (古谷)
- ☆ 直接お会いできなくても、リモートでほぼ全員の皆さんのお顔が見えました。すごいもんです。小森さんのお話、よかったですね。また新たな形でミャンマー支援が出来そう・・・という希望が持てます。あー、それにしても、コロナとミャンマーの軍部!もう、いらん、ですね。

(保田)

- ☆ サンホームの1F ロビーを、ポジティヴネット募金を使わせていただき、リニューアルしました。利用者さんとそのご家族はもちろん、コロナで籠っている地域の色々な人たちの交流や健康促進、ボランティアさんたちの活動の場として、もっともっと活用いただけるよう願っています。心が自然とまるくなるサンホームに、ぜひ遊びにいらしてください。 (山佐)
- ☆ 今月の例会は小森仁美さんのミャンマーでの活動ぶりの卓話。私が2009年11月まで何回か山地さんの縫製指導のお手伝いで訪れていた時のことが思い出された。また訪れたいが今はマンダレーでも街が落ち着いていないので無理でしょうね。なにかでミャンマーと関わっていたい。 (吉岡)
- ☆ 昨年籍を入れ、二人で生活を始めていた甥の結婚式が、 9 月に行われ参加します。緊急事態宣言発令中の式で、 参加を辞退される招待客もおられますが、感染への注意 を怠らず、心からの祝福を送りたいと思います。(吉田)
- ☆ 山地さんの追悼にもなるようなお話しよかったです。志 半ばで中断せざるを得なくなっている残念なお気持ちが、 よーくわかりました。辛いですね。コロナもミャンマー の人々の事も、ひたすら祈り続けていきます。紀の川ク ラブからの思わぬビジター参加、嬉しかったです。

(和田)

編集後記

やっと緊急事態宣言が解除。でもまた第6波などということになるのでは?とちょっとびくびくの私たちです。でもこの1年半余りの間、確実に新しい生き方を身につけつつある私たちでもあります。クラブも新しいあり方を模索していきたいですね。